

進学通信

進んで学べ、進学のコト

1～2年生向け
冬休みの過ごし方 &
センター試験 直前
スペシャル



今回の通信は両A面(←現代の若者には通じないね) こちらは1～2年生向けサイドとして、冬休みの過ごし方特集です。厳しい内容になりますが安心して読んで下さい!

高校生は冬休みの誘惑に勝つ!

道の落ち葉が風に舞い、車のフロントガラスが凍り付く、寒さ厳しい時期になってきました。ところが、1～2年生の皆さんは、昼前で授業が終わって年末に向けて気持ちが緩む時期ではないでしょうか。3年生で進路が決定している皆さんは特に!です。そんな中で、あえて「誘惑に勝つ」という見出しを付けました。「高校生の冬休みは、休みにあらず」ということをお伝えしたいと思います。

冬休みは休みではない理由①

→センター直前で一番ピリつく時期だから

ここから3月までの約3ヶ月弱は熾烈な戦いが続き、社会全体を巻き込んで受験の季節となります。お正月に「明けましておめでとうございます」と挨拶している裏で、受験生はセンター直前に不安や悲しみ、怒りをかみ殺しながら勉強を積み重ねるのです。その雰囲気分からないと、武義高生としては非常にマズいです。武義高生は1年生のうちから、冬休みは入試の戦いの時期であることを感じてほしく思います。

冬休みは休みではない理由②

→センターや受験・就職まであと〇年の区切りだから

大袈裟な言い方はしたくないですが、受験や就職であなたの人生はまず1つの大きな転機を迎えます。その時までの1つの区切りが冬休みです。ここで何も考えずに年の瀬と年始を浮かれ騒ぎ、疲れて寝倒すのはやはり武義高生として非常にマズい。特に2年生で推薦入試を検討する人たちは、既に本番まで1年を切っている状態です。緊張感を高めるのは当たり前です。

冬休みは休みではない理由③

→次の学年へのステップアップの始まりだから

後期中間も終わり、2月で今の学年とはさよならです。授業も残りわずか。そんな中で、次の学年への姿勢はできていますか? 「3年生ゼロ学期」などとも言われるこの時期、勉強時間が短い、成績が低い、計画性がない、そんな状態での進級は厳しいですよ。武義高生の冬休みは、次の学年で耐えていけるだけの自分作りをするときであることを肝に銘じて勉強しよう。

計画性を持つ→勉強ができる

ある大学で、なかなか家庭学習ができない学生たちに、どうやったら勉強するようになるかという研究をした先生がいらっしゃったそうです。その結論は2つ、①勉強のやり方を教え理解させ、身につけさせること
②計画を立てて意識させ、それを基に勉強させることだったそうです。行き当たりばったり&思いつきで急に行動しても、人間は勉強の習慣が身につかないと言うことですね。

冬休みに入る手前、気が抜けていませんか? さらに、無計画でとにかく与えられた課題は答を写してとりあえず提出しとけと思っている人は居ませんか? 必ず1年後、2年後に泣きを見ます。冬休みの1日の時間割、そしてどの日にどこまでやれば良いか、計画を立ててみませんか? いつもより学習に身が入ると思います。

では、冬休みの勉強とは?

●1年生

- 2年生に向けて、授業日2～3時間、休日4～6時間の学習姿勢を完成させていくこと。
- 与えられた課題をやるだけでなく、進路実現のための自分の目標を持って、そのための勉強をする。

●2年生

- 3年生に向けて、授業日3～4時間、休日6～10時間の学習姿勢を完成させていくこと。
- いよいよあと1年を切る(切った)という緊張感と、計画性を持つこと。1月～12月までの学習の見通しを作り、早速スタートすること。
- 積み残しを作らない。苦手克服がとにかく最重要であり、そのための学習をスタートすること。
- 1月記述模試、2月マーク模試で結果を出すこと。
そこで言い訳する者は3年生ですっと伸び悩む。

遊びたい気持ちはよく分かります。お年玉や家族での団らん、友達や恋人とのお出かけ、初売り福袋、色々と誘惑が多く、つい甘えてしまいますよね。ですがもう一度、「高校生の冬休みは、休みにあらず!」&「一年の計は元旦にあり!」良い春を迎えるよう、良い冬休み、良い年末年始をお過ごし下さい。そして、成長した姿で来年またお会いしましょう!